

# 保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
  - (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合  
(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	レコードプレーヤーシステム			★お買い上げ日： 年 月 日
型番	RDP-B200N	品番	07-5754	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前 様			
	★ご住所 〒 一  電話 ( )			
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話  印			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。



株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは  
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-5754E

AudioComm®

# 取扱説明書 保証書付

## レコードプレーヤーシステム

型番:RDP-B200N 品番:07-5754



このたびは、AudioComm® レコードプレーヤーシステムを  
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。  
本機の性能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、  
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、  
ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取扱を誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

## 目次

免責事項	1
著作権について	1
安全上のご注意	2~3
使い始める前に	4
電源について	4
各部の名称	5
レコードを聴く	6~7
レコードの音楽をデータファイルとしてパソコンに保存する	7~11
ヘッドホンで聴くときは	11
外部スピーカーと接続するときは	12
レコード針の交換方法	12
故障かなと思ったら	13
主な仕様	14
お手入れのしかた	14
保証書とアフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

## 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 著作権について

放送やCD、MD、レコードその他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

### 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

### 絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。  
(左図の場合は感電注意が描かれています。)



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。  
(左図の場合は分解禁止が描かれています。)



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。  
(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜くが描かれています。)

## 警告

	<p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li><li>●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。</li></ul>		<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●感電のおそれがあります。</li></ul>
	<p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li><li>●販売店にご連絡ください。</li></ul>		<p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●火災・感電の原因となります。</li></ul>
	<p>電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。</li><li>●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。</li></ul>		<p>本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●火災・感電の原因となります。</li></ul>
			<p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●火災の原因となります。</li></ul>
			<p>本機を分解、修理、改造しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●火災・感電の原因となります。</li></ul>

## 警告

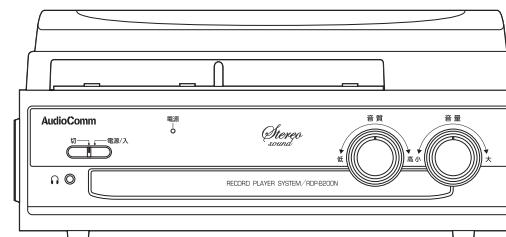
	浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない ●感電や故障の原因となります。		海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。
	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。		電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
	電源コードを敷物などで覆わない ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。		電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。		

## 注意

	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		移動させるときやお手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜く ●感電の原因となることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。		電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。		旅行などで長時間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●火災・液もれの原因となることがあります。
	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。		電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波により互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
	ほこりの多い場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。		電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。		
	音量を上げすぎない ●周囲の迷惑になつたり、聴力障害などの原因となることがあります。 ●ヘッドホン使用時に耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。		

## 使い始める前に

本製品には、以下のものが含まれています。箱を開けたら、まず最初に付属品を含めた内容物をお確かめください。



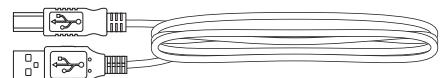
本機



CD-ROM 1枚



保証書付取扱説明書(本書)



USBケーブル(データ出力用) 1本

<その他>

- RCAケーブル(音声出力用) 1本
- スリップマット 1枚
- EP盤用アダプター(本体に装着)

重要  
ご注意

本機(レコードプレーヤー)は、製品保護のため、ダストカバーやターンテーブル、トーンアーム、EP盤用アダプターなどがテープやワイヤー入り結束ひもで固定されています。ご使用の前にこれらを必ず取り外してください。付けたまま使うと故障や破損の原因となります。また、トーンアーム先端のレコード針部はコの字型の透明プラスチックカバーで保護されています。レコード針が保護された状態のまま使うと(カバーが下向き)、レコードを傷つける原因となりますので、ご使用時は必ずカバーを手前に引き上げてください。

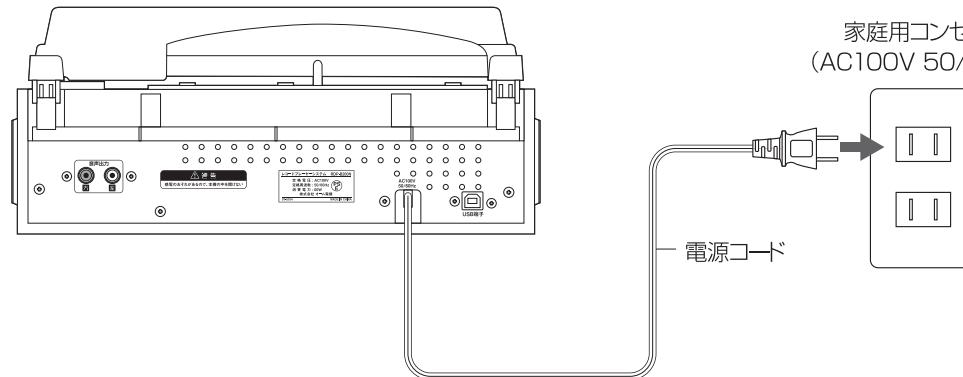


透明プラスチックカバー

## 電源について

電源スイッチが「切」になっていることを確認し、電源コードのプラグを家庭用コンセントに接続します。

後面

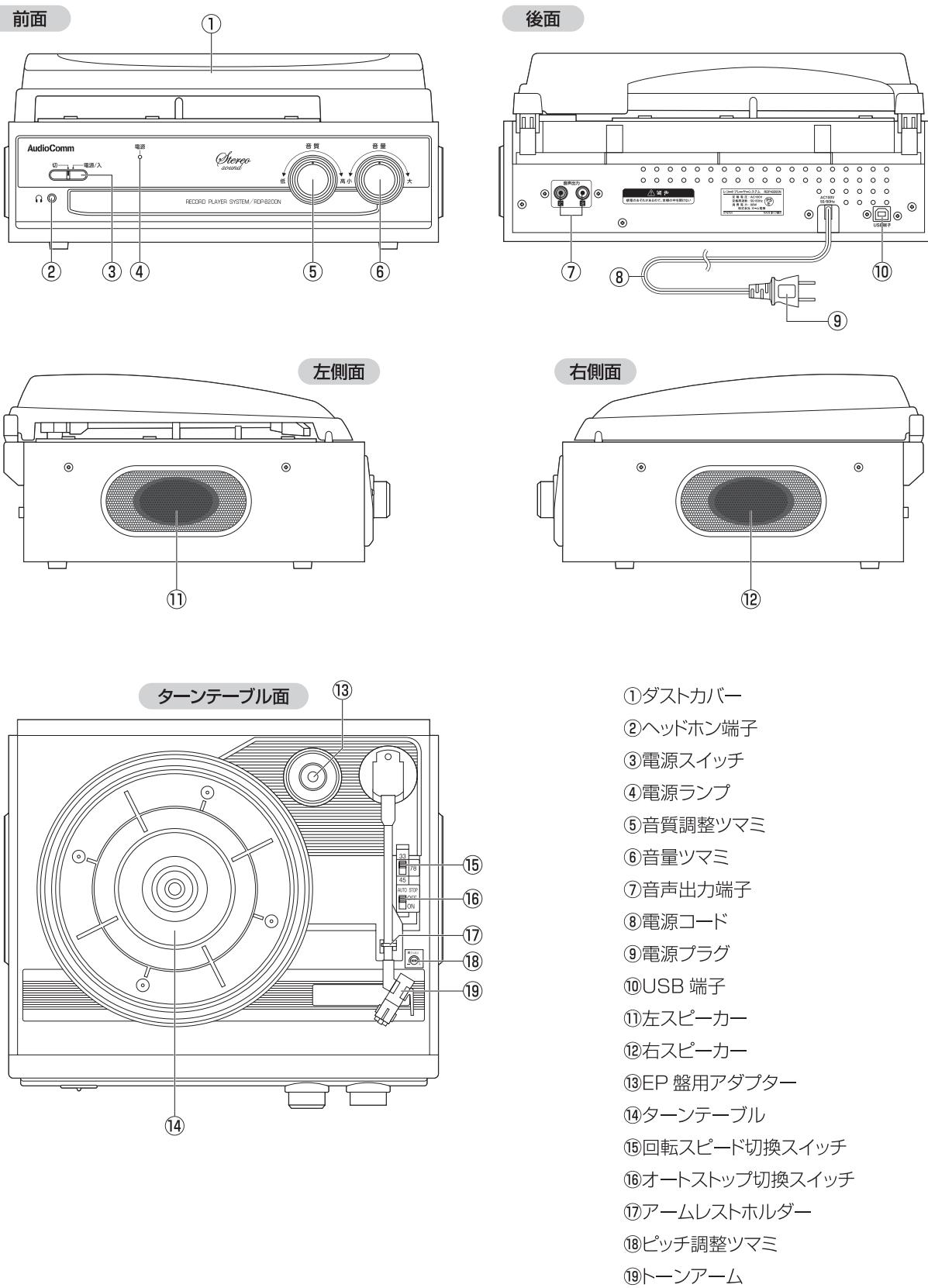


家庭用コンセント  
(AC100V 50/60Hz)

電源コード

ご注意 ●電源プラグはコンセントにしっかり差し込んでください。不完全な状態ですと、雑音発生の原因となります。

## 各部の名称



## レコードを聴く

### ヒント オートストップ機能について

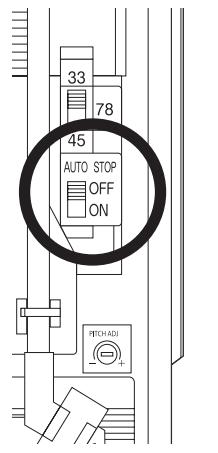
本機にはオートストップ機能があり、ONとOFFを切り換えることができます。

#### オートストップ切換スイッチが「ON」のときは：

トーンアームの動きに合わせてターンテーブルが回転し、演奏が終わると自動的に停止します。

※ただしトーンアームは自動では戻りませんので、手動でアームレストに戻してください。

※EP・SP盤のレコードを演奏しているときは、盤の終わりの途中で停止してしまうことがあります。そのようなときは、オートストップ切換スイッチを「OFF」にして演奏してください。

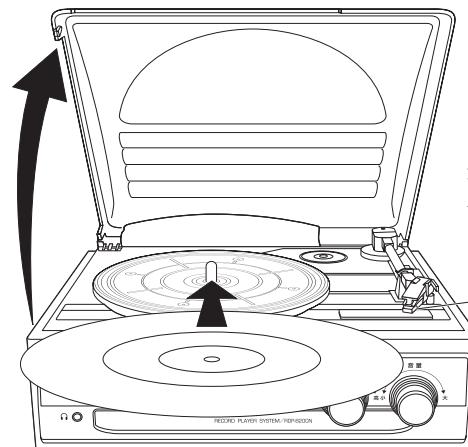
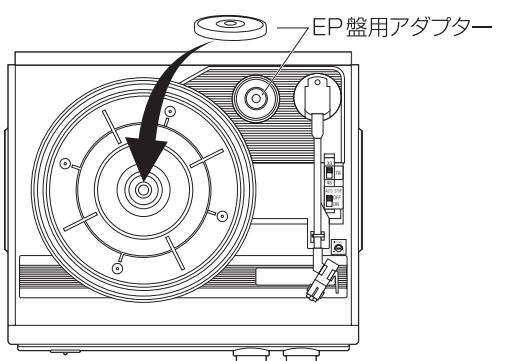


#### オートストップ切換スイッチが「OFF」のときは：

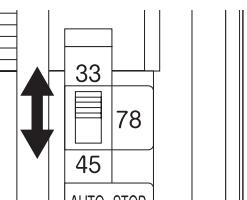
電源を入れるとターンテーブルが回転を始めます。

※演奏終了後もターンテーブルが回り続けますので、演奏が終わったらすぐにトーンアームをアームレストに戻してください(自動では戻りません)。そのまま放置するとレコード針の損傷や音質低下の原因になります。

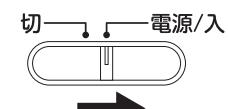
- 1 ダストカバーを開けて、レコードをセットします。  
EP盤の場合は、EP盤用アダプターをターンテーブルの軸部に装着し、その上からセットしてください。また、P.4を参照して、レコード針の透明プラスチックカバーを手前に引き上げてください。



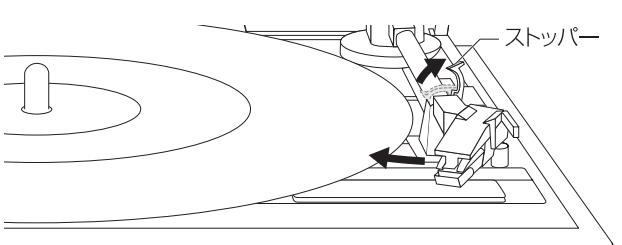
- 2 レコード盤の種類に合わせて回転スピード切換スイッチを切り替えます。  
多くの場合、LP盤は33回転、EP盤は45回転、SP盤は78回転です。



- 3 電源スイッチを「電源／入」に合わせます。  
電源が入ると電源ランプが点灯します。  
オートストップ切換スイッチが「OFF」のときは、電源を入れるとターンテーブルが回転を始めます。



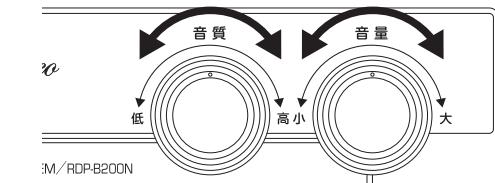
- 4 アームレストホルダーのストッパーを外し、トーンアームを演奏したいところにゆっくりと降ろすと演奏が始まります。  
オートストップ切換スイッチが「ON」のときは、トーンアームをレコード盤に近づけるとターンテーブルが回転し始めます。



## レコードを聴く(つづき)

### 5 音量ツマミと音質調整ツマミを回して音量・音質を調節します。

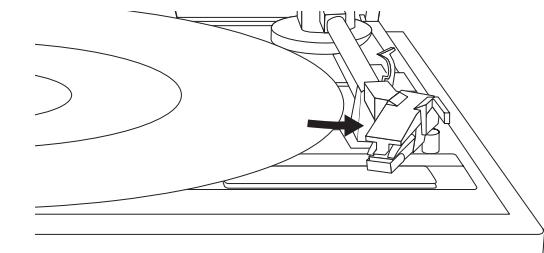
音質調整ツマミは、右に回すと高音域が強調され、左に回すと高音域が抑えられた音質になります。



### 6 演奏を中止したいときは、指でトーンアームを持ち上げ、アームレストに戻してください。

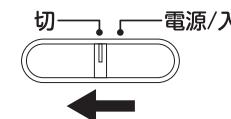
### 7 演奏が最後まで終わったら、トーンアームをアームレストに戻します。

オートストップ切換スイッチが「ON」のときは、ターンテーブルの回転が自動で停止します。「OFF」のときは回転し続けますので、直ちにアームトーンを戻してください。



### 8 終了するときは音量を絞り、電源スイッチを「切」に合わせます。

電源ランプが消灯します。



**ご注意** トーンアームを操作するときは、レコード盤を傷つけないようご注意ください。

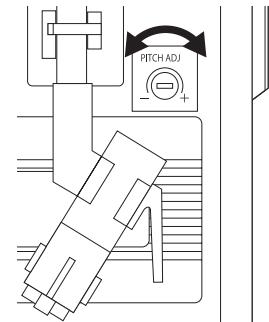
使わないときはレコード盤を本機にセットしたままにせず、ジャケットに入れて保管してください。また、アームレストホルダーのストッパーもしっかりと固定し、ほこりなどから本機を保護するため、ダストカバーを閉じてください。

### ヒント ピッチコントロール(演奏速度の微調整)について

ピッチ調整ツマミをプラス(+)側に回すと演奏速度が速くなり、マイナス(-)側に回すと遅くなります。

### スリップマットについて

本機にはフェルト製のスリップマットが付属しております。DJプレイ時などにご使用ください。



## レコードの音楽をデータファイルとしてパソコンに保存する

本製品では、付属のCD-ROMに収録されたソフトウェア「Audacity」を使って、レコードの音楽をデータファイルに変換し保存することができます。

※本製品は「Audacity」の録音、データファイル変換機能を使用しています。「Audacity」には他の編集機能がありますが、録音、データファイル変換以外の機能についてのお問い合わせはご容赦願います。

※本製品には「Audacity」日本語版を収録していますが、表示内容の一部には英語表記も含まれています。

※「Audacity」はGNU general public license(GPL)に基づくフリーソフトウェアです。

※本書ではレコード音楽の録音、データファイル変換に関する基本操作のみを解説しています。より詳しい内容は、<http://www.audacityteam.org/>をご覧ください(英語サイト)。

### ●「Audacity」動作環境

Windows	Windows XP / Vista / 7 / 8 / 10
Macintosh	OS9, OS X10.1(intel-1.2.5), OS X10.1(PPC-1.2.6a), OSX10.4(2.0.3), OSX10.6以降

## 「Audacity」のインストール方法

### Windowsの場合 (例: Windows7)

#### 1 パソコンを起動して付属のCD-ROM

を読み込み、「Audacity」フォルダーをダブルクリックします。



スタートメニューから「コンピューター」をクリックし、さらに該当するドライブをクリックすると「Audacity」フォルダーが表示されます。

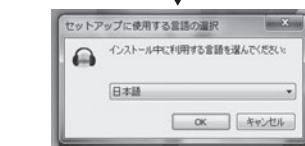
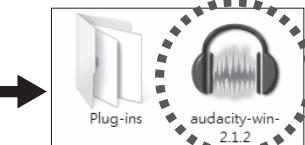
#### 2 「Windows」フォルダー

をダブルクリックします。



#### 3 「Audacity2.1.2」

フォルダーをダブルクリックします。さらに「audacity-win-2.1.2」をダブルクリックし、続けて、「セットアップに使用する言語」で「日本語」を選択し、「OK」をクリックします。



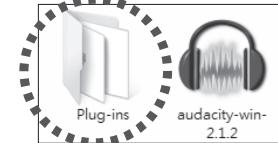
#### 4 「Audacityセットアップ

ウィザードの開始画面が表示されるので、画面の指示に従ってインストールしてください。



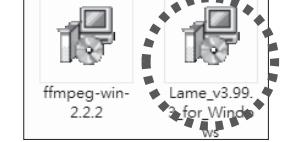
#### 5 ステップ③の画面まで戻り、「Plug-ins」

フォルダーをダブルクリックします。



#### 6 「Lame\_v3.99.3\_for\_Windows」

ファイルをダブルクリックします。



#### 7 「Welcome to the LAME Setup Wizard」

画面が表示されるので、画面の指示に従ってインストールしてください。



### Macintoshの場合 (例: OSX10.9.5)

#### 1 パソコンを起動して付属のCD-ROM

を読み込み、「Audacity」アイコンをダブルクリックします。



#### 2 「Audacity」

フォルダーをダブルクリックします。



#### 3 「Mac」

フォルダーをダブルクリックします。



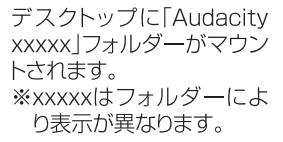
#### 4 お使いのOSに対応した「Audacity」

フォルダーをダブルクリックします。



#### 5 フォルダー内にある「audacity-mac(xxxxx).dmg」

をダブルクリックします。



#### 6 マウントされたフォルダーをダブル

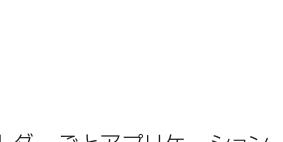
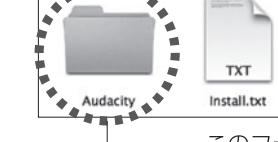
クリックします。



#### 7 「Audacity」

フォルダーをパソコンのアプリケーション

フォルダーへコピーします。



このフォルダーごとアプリケーション

フォルダーへコピーしてください。

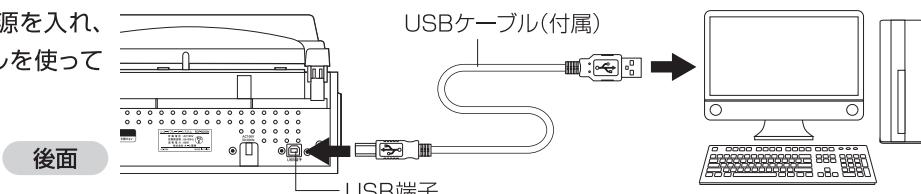
# レコードの音楽をデータファイルとしてパソコンに保存する(つづき)

## レコードの音楽を録音する

「Audacity」の操作画面は、Windows、Macintoshともにほぼ同じです。この項ではWindows7の画面をもとに操作方法を説明します。

**重要** 必ずパソコンと本機を接続した後に「Audacity」を起動してください。順序を間違えると再生、録音デバイスの項目に設定が表示されません。

- ① パソコンと本機の電源を入れ、付属のUSBケーブルを使って双方を接続します。



- ② 「Audacity」アイコンをダブルクリックします。

「ようこそ」の画面が表示されたら、「OK」をクリックして次に進んでください。



- ③ 「編集」メニュー内の「設定」をクリックし、「デバイス」タブで右の設定をして「OK」をクリックします。

Macintoshでは「Audacity」メニュー内の「Preferences」をクリックすると同様の画面が表示されます。



設定が終わったら「OK」をクリックします。

- ④ 本機でレコードを演奏し(P.6~7参照)、録音を開始したいところで「Audacity」の録音ボタンをクリックします。

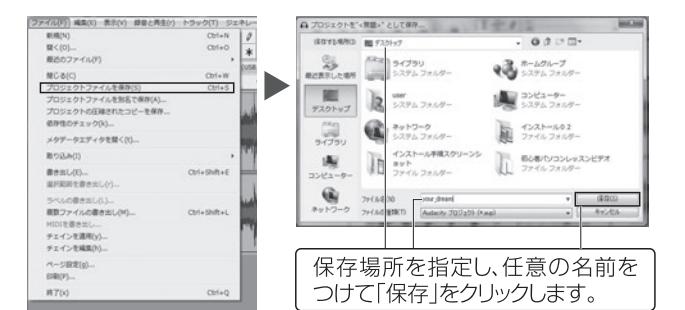
録音が始まると、「Audacity」の画面内に録音レベルの波形が表示されます。



- ⑤ 録音を終了するには、「Audacity」の停止ボタンをクリックします。

- ⑥ 「Audacity」の「ファイル」メニュー内にある「プロジェクトファイルを保存」をクリックし、任意の名前をつけて保存します。

ファイルアイコンとともに、同名のプロジェクトデータフォルダーがセットで生成されます。



## ヒントと注意

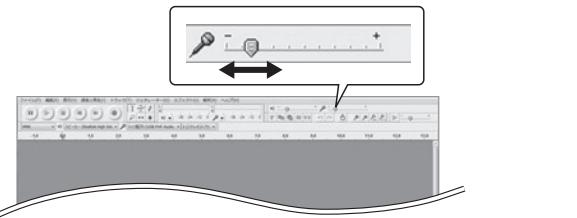
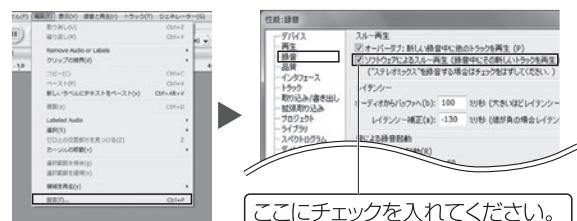
### ●レコードの音楽をパソコンのスピーカーでモニターするには

「編集」メニュー内の「設定」をクリックします。続いて表示される画面で「録音」タブをクリックし、「スルー再生」項目の「ソフトウェアによるスルー再生」にチェックを入れてください。そうすることで録音を開始すると、パソコンのスピーカーでもモニターできるようになります。

※Macintoshをお使いの場合は「Audacity」メニュー内の「Preferences」をクリックすると同様の画面が表示されます。

※録音を行わない状態でモニターする場合は、メーターツールバーの入力レベルメーターにカーソルを合わせてクリックするか、入力レベルメーターの下にある▼マークをクリックし、プルダウンメニューで「モニターを開始」にカーソルを合わせクリックしてください。

※パソコンでモニターする場合、本機のスピーカー／ヘッドホンからの出力との間に時間差が生じます。本機の音量を絞るなどして調整してください。

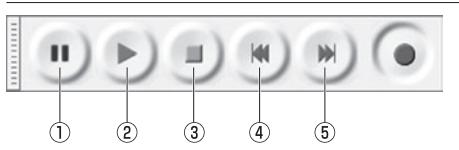


### ●録音レベルの調整

録音レベルが高すぎたり、低すぎたりすると、音が割れたり、小さい音が録音されなかったりします。そのようなときは「Audacity」の録音レベル調整ツマミをドラッグして調整し、再度録音してください(録音中は操作できません。事前に試し録りすることをおすすめします)。

※本機の音量調整は影響しません。

### ●「Audacity」での再生に関する基本操作



- ①一時停止ボタン：再生を一時停止します。もう一度クリックすると再生を再開します。
- ②再生ボタン：再生を開始します。再生中にクリックすると最初に戻って再生します。
- ③停止ボタン：再生を停止します。
- ④スキップボタン(◀)：クリックするとファイルの先頭に移動します(停止中のみ有効)。
- ⑤スキップボタン(▶)：クリックするとファイルの最後に移動します(停止中のみ有効)。

### ●「Audacity」での録音したファイルについて

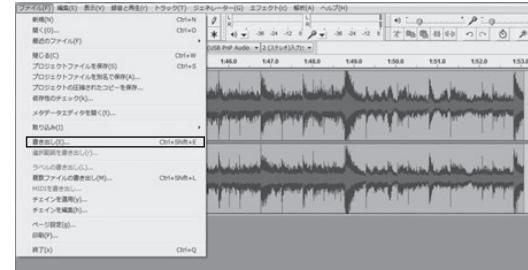
- ・保存したファイルとプロジェクトデータフォルダーは同じフォルダー内の同じ階層に置いてください。またファイル名やフォルダ名を変更しないでください。変更すると再生できなくなります。
- ・ステップ⑥で生成されるファイルは「Audacity」専用のファイル形式になっており、この状態では他の音楽再生ソフトや音楽プレーヤーでは再生できません。MP3ファイルに変換するには、続けて、次項(MP3ファイルを書き出す)の手順に進んでください。

## レコードの音楽をデータファイルとしてパソコンに保存する(つづき)

### MP3ファイルを書き出す

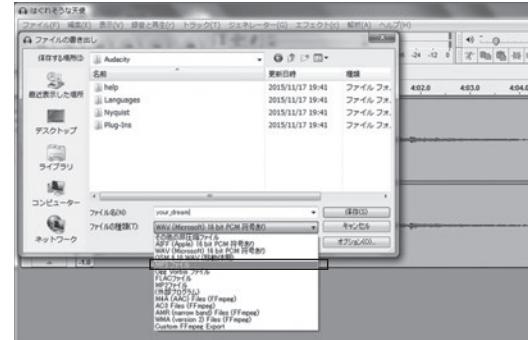
MP3に書き出したいファイルを表示した状態で以下の操作をしてください。「Audacity」で保存したファイルは、「ファイル」メニューの「開く」または「最近開いた」で読み込むことができます。この項ではWindows7の画面をもとに説明します。

- 書き出したいファイルを表示した状態で、「ファイル」メニュー内の「書き出し」をクリックします。



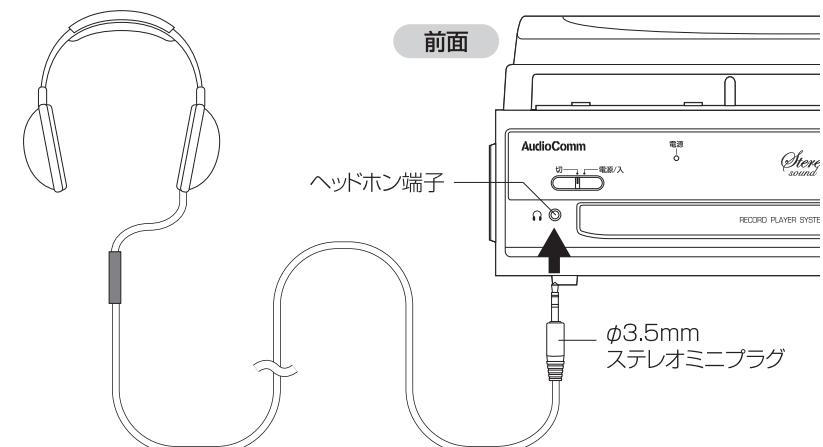
- ファイルの種類で「MP3ファイル」を選んでクリックし、「保存」をクリックします。

保存場所を変更する場合は、任意の場所を設定してください。



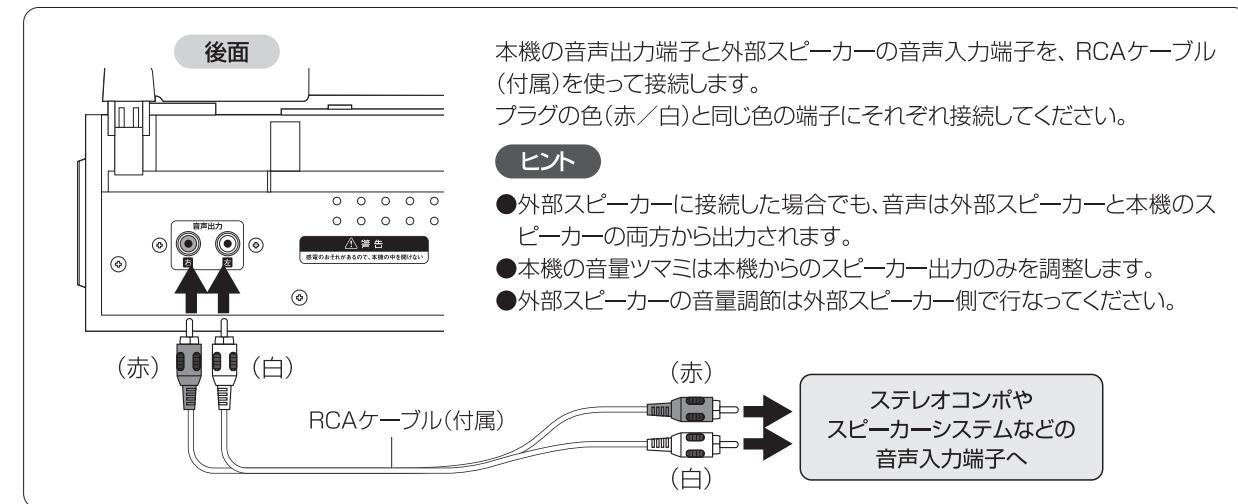
### ヘッドホンで聞くときは

ヘッドホンで聞くときは、別売のステレオヘッドホン(Φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聞こえなくなります。



## 外部スピーカーと接続するときは

ステレオコンポやスピーカーシステムなどに本機の音声を出力することができます。



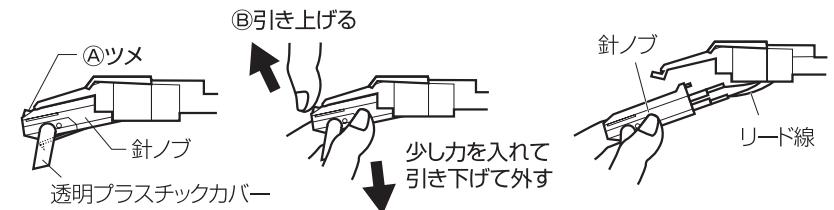
## レコード針の交換方法

レコード針は50時間ほど使用するとすり減って音質が悪くなり、レコード盤を傷めます。定期的に弊社指定の専用交換針にお取り換えてください。

専用交換針(3本入)  
弊社商品番号 07-8266

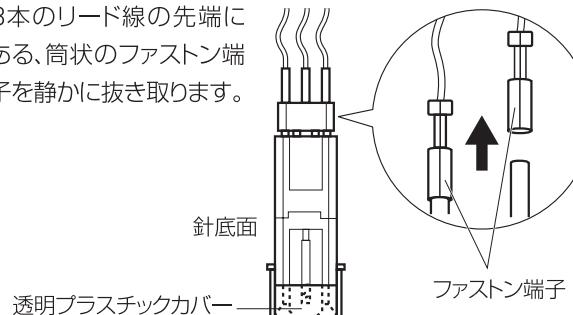
### 針ノブの外しかた

- ⒶのツメをⒷの方向に引き上げながら、少し力を入れて針ノブ全体を引き下げて外します。  
※引き下げるときにリード線を切らないようにご注意ください。

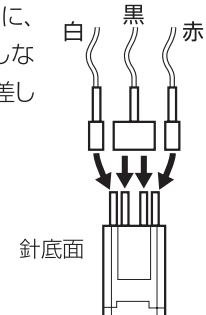


### リード線の着脱

- 3本のリード線の先端にある、筒状のファストン端子を静かに抜き取ります。

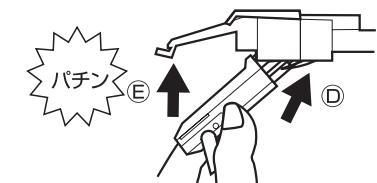


- 新しい針ノブの端子に、リード線の色に注意しながらファストン端子を差し込みます。



### 装着のしかた

- カートリッジからはみ出さないようにリード線を収納し(Ⓐ)、カートリッジの根本部分と針ノブを合わせてから、矢印Ⓑの方向へ押し上げて取り付けます(パチンと音がして固定されます)。



## 故障かなと思ったら

	症 状	チェック項目
共通	電源が入らない	●電源プラグは正しくコンセントに差し込まれていますか。
レコード部	音が出ない	●電源は入っていますか。 ●音量が最小になってしまいませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが接続されていませんか。
	レコードの音がおかしい	●レコードの回転数は合っていますか。 ●ピッチ調整ツマミの設定は合っていますか。 ●曲がっていたり、そっているレコード盤を使っていませんか。
	雑音が入る	●レコードの針が摩耗していませんか。 ●針先にほこりがたまっていますか。 ●レコード盤に静電気が溜まっていますか(「お手入れのしかた」を参照してレコード盤をクリーニングしてください)。
	「ワーン」という音が出る (ハウリング現象)	●本機の置きかたや部屋の状態により発生する場合があります。置きかたや音量を調整してみてください。
	音が飛び	●振動の多い場所で使っていませんか。床の振動などが本機に伝わっていませんか。 ●レコード盤に傷がついていませんか。 ●本機を水平な場所に置いていますか。傾いていると針が飛びやすくなり、音飛びの原因になります。 ●レコード盤にそりはありませんか。
	レコードの回転が途中で止まる	●オートストップ切換スイッチが「ON」になっていませんか。EP盤やSP盤で標準的なレコードより演奏時間が長い場合、途中で止まることがあります。オートストップ切換スイッチを「OFF」にして、演奏終了後、手動でトーンアームを戻すようにしてください。
	録音できない	●本機とパソコンは正しく接続されていますか。 ●「Audacity」の録音デバイスで「USB PnP Audio Device」を設定しましたか(P.9参照)。
録音及び音楽ファイルの再生	「USB PnP Audio Device」が表示されない	●本機とパソコンは正しく接続されていますか。 ●本機とパソコンを接続後に「Audacity」を起動しましたか(順番を間違えると表示されません)。
	音が割れる／音が小さい	●「Audacity」の録音レベル調整は正しく行ないましたか。 ●(「Audacity」での再生時)「Audacity」内の音量設定やパソコン自体のスピーカー音量設定が、大きすぎたり、小さすぎたりしていませんか。「Audacity」側の設定については、画面内の音量レベルツマミをドラッグして調整してください。
	再生できない	●「Audacity」用の音楽ファイル(拡張子:.aup)とプロジェクトデータフォルダーが同一フォルダー・同一階層にありますか。

## 主な仕様

### ●共通部

電源	AC100V 50 / 60Hz
実用最大出力	1.0W + 1.0W(r.m.s)
消費電力	12W
外形寸法	幅318×高さ145×奥行290mm (突起物含まず)
質量	約2.35kg

### ●レコードプレーヤー部

形式	マニュアル機構
回転速度	33 1/3回転、45回転、78回転
カートリッジ	セラミックタイプ
駆動方式	ベルトドライブ
周波数特性	150Hz ~ 7kHz

### ●付属品

- ・RCAケーブル(音声出力用)
- ・USBケーブル(データ出力用)
- ・パソコン用ソフト(CD-ROM)
- ・スリップマット
- ・EP盤用アダプター(本機内に装着)
- ・保証書付取扱説明書(本書)

### ●スピーカー部

形式	口径50mm フルレンジスピーカー(3W)×2
周波数特性	100Hz ~ 10kHz

※仕様及び外観は予告なく変更することがあります。

※この取扱説明書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

## お手入れのしかた

### キャビネットのお手入れ

キャビネットや操作部が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布に吹き付けて拭き、つづいて乾拭きをしてください。

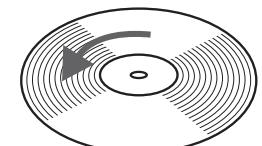


シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

### レコード盤のお手入れ

レコード盤にはこりやゴミが付着すると、音飛びや雑音の原因となりますので、市販のクリーニングキットなどでクリーニングすることをおすすめします。

クリーニングする際は、レコード盤の溝に沿って弧を描くように行ってください。



## 保証書とアフターサービスについて

### 保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

#### ●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

#### ●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。